

自己紹介 中川 智明

ジャカルタのビジネスサポーターの中川です。

2001年から日本の公認会計士として大手監査法人で業務をスタートし、2012年にインドネシアの大手監査法人へ駐在員として出向してインドネシアに参りました。



その後、2014年にPT. Trans Ocean Consulting をジャカルタで設立しました。

現在は、会計税務を中心とした日常的業務のお手伝いから、新規進出や組織再編、M&Aなど幅広い側面で日系企業を支援しています。

インフラや制度面で改善の余地が大きく、日系企業は様々な課題に直面していますが、若い世代が中心の2億6千万人の市場は中長期的に外せないマーケットであると思います。

これまで数多くの進出事例及び進出後のビジネス拡大事例の経験をもとに、地に足のついた厳しいけれど現実的かつ成功確率の高いアドバイスを中心に心がけたいと思います。

PT. Trans Ocean Consulting

会計税務を中心としたビジネスコンサルティングサービスを提供しています。具体的には、日常的な会計税務のサポートサービスから新規進出や組織再編、M&Aなど幅広い側面で日系企業を支援しています。現在は、事業再編や株式売却及び内部統制の強化など、業務の見直しや足場固めに関する相談が増えています。

インドネシアは潜在的な魅力にあふれた国だとは思いますが、まだまだ法制度が未成熟です。このような環境において、本当に効率的な会社運営を、優秀なローカル人材を活用しながら提案しサービスすることを目標としています。弊社職員は日本及び日本の文化が好きの方が多く、皆、誇りを持ってサービスしていま

インドネシア ジャカルタ

こんな国こんな都市

インドネシアは世界第4位の2億6千万人の人口を誇り、かつ平均年齢は29歳で中間層が拡大するこれからの国です。経済的には踊り場といわれた数年を経て、現在インフラ投資をベースに力強い景気回復基調を取り戻しつつあるとされています。

人々は起業や投資に前向きで、将来に対して非常に楽観的で明るい見通しを持っています。時に日本人からすると、危うくも思われるほど楽観的な見通しですが、若さを武器に最終的にはパワーで押し切ってしまう印象です。このようなインドネシアと共に発展してゆく選択を考える日本人及び日本企業にとって、インドネシア人が日本を大好きでいてくれることも非常に有利な事です。近年、受注が競合するインフラ案件等で、価格競争の結果、中国等に日本が負けてしまうこともあります。例えば、日本車が95%以上のシェアを占めるインドネシアにおいては、まだまだ日本及び日本人への信頼感は絶大なものがあります。

以上のように、インドネシアは潜在的な魅力がある日本を好きでいてくれる国ですので、インドネシアという国及び人を謙虚に学び、関係構築することで共に発展できる国と言えるのではないのでしょうか。



弊社からの眺め。大きなビルの合間の空地が次々に開発されるジャカルタの街並み。